

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	サイデン化学アリーナさいたま(さいたま市記念総合体育館)					
(2)施設概要	①所在地　さいたま市桜区道場4-3-1 ②施設の設置目的 市民の体育、スポーツ及びレクリエーションの振興を図る。 ③施設の概要 平成15年6月1日開館　建築面積　13,894.53㎡　建物面積　17,739.75㎡ メインアリーナ、サブアリーナ、多目的室、温水プール、トレーニング室、 フィットネススタジオ、弓道場、ランニングコース、会議室、研修室　他					
(3)指定管理者	スポーツのまち　さいたまパートナーズ					
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和5年4月1日～令和10年3月31日 ②指定管理料 令和5年度:142,692千円、令和6年度:142,692千円、令和7年度:151,253千円					
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況(括弧内は前年度の数値) 【利用件数】193,228件(前年202,785件) 【利用人数】413,236人(前年417,848人) 【利用率】メインアリーナ:87.3%(86.0%)、サブアリーナ:84.6%(89.2%)、多目的室:69.0%(72.0%) ◇業務実施状況 ・利用者登録及び申込み受付業務(施設の利用許可) ・公共施設予約システムによる貸出し管理 ・事業計画書に基づく業務(市民スポーツの普及・支援・指導など) ②維持管理業務の状況 ・消防設備点検　年2回 ・自家用電気工作物点検　年6回 ・大型空調機保守点検　年1回 ・エレベーター保守点検　年4回 ・自動ドア保守点検　年4回 ・事業系一般廃棄物収集運搬業務　週3回 ・産業廃棄物収集運搬処理業務　年1回 ・自動制御設備点検　年1回 ・建築設備定期検査　年1回 ・特殊建築物定期調査　3年に1回 ・プール水水質検査　月1回 ・プール濾過設備保守点検　年2回 ・プール可動床保守点検　年1回 ・体育器具保守点検　年1回 ③その他(自主事業等) スポーツ教室(プール教室子供・プール教室大人、空手教室、チアダンス、ヒップホップ、初心者卓球教室、親子スポーツ教室、バレー教室、ドッジボール教室、ビククルボール教室等)の開催、スポーツフェスティバルの開催、無料開放事業(エンジョイサタデー)の開催、スイムプライベートレッスンの開催、トレーニングプライベートレッスンの開催、スタジオワンコインレッスンの開催、スタジオ祝日イベントの開催、映像レッスンの実施、走り方教室イベントの開催					
(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	96,933千円	96,194千円	人件費	94,166千円	100,136千円
	指定管理料	151,253千円	142,692千円	事務費	34,020千円	32,959千円
				施設管理費	109,122千円	117,353千円
	【自主事業】					
	収入	36,642千円	36,335千円	支出	18,651千円	16,971千円
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	①　利用者アンケート実施期間　2025年12月15日(月)～28日(日) ②　利用者アンケートの結果から、レズミルズプログラムが人気であることが分かったためプログラム数を増やした。					
(8)その他	プールロッカーの老朽化により、男性ロッカーの入れ替えを実施した。これにより利用できる定員数が増えたため、繁忙期の待ち時間を削減することができた。					

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
地域社会形成に資する広範囲な分野との連携	中学生職場体験(未来くるワーク)の受け入れを年間4校実施した。公共施設の運営のしくみを館長から講義するとともに、受付職員業務・プール監視業務を体験してもらい、地域連携を図った。
市民が主役の成果発表会	自主事業で展開している、子どもヒップホップ教室及びチアダンスの定期的な発表機会を設けたことに加え、10月のさくら記念祭り内でも発表会を実施した。
経費節減の具体的な考え方	電気需給基本契約を変更し、電気料金を中心とした経費を削減した。また水光熱費全体の削減については、四半期に1度の指定管理グループ内ミーティングを実施し、経費削減についての調整・対策の場をもち施設管理費の削減に繋げた。
修繕計画及び実施方法 重点整備する箇所	男性ロッカーの入れ替えを行い、利用者制限をかける必要がなくなったことで利便性を向上させることができた。
利用ニーズを高める自主事業	専門インストラクターによるビックルボール教室を開催・増設し人気事業となった。また日本ドッジボール協会・埼玉県ドッジボール協会と連携し、イベント・教室を開催した。走り方教室については、埼玉県公園緑地協会秋ヶ瀬管理事務所との連携により秋ヶ瀬公園グランドを使用したイベントを展開した。
教室オンライン予約	利便性を向上させるため、オンラインで参加予約が行えるように通年での対応を実施した。
定期的な安全研修の実施	防災訓練のほか年間10回の緊急時対応研修・年間8回の溺者救助研修を実施した。指定管理者であるコナミスポーツ株式会社として溺者救助研修・障がい者対応研修・体育施設器具備品管理研修を実施し、施設運営力を強化した。
個人情報保護についての取組	指定管理者代表企業はPマークの取得企業として個人情報については年4回・IT関連の管理についても年4回計8回のテスト形式研修を実施した。

3. 評価

(1)指定管理者による評価

【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】 トレーニング室の運営については、昨年度導入した利用サポートプログラムを継続するとともに再整備して実施し、利用者が継続して運動できる環境を整えた。 また、利用者の要望を踏まえ、人気のプログラム(レズミルズ等)を拡充することで、プログラム利用者の増加を図った。特に参加の少ないプログラムについては、より利用しやすい内容への見直しに注力するとともに、利用者がより楽しめるプログラムを提供するよう努めた。 プールについては、老朽化していたロッカーの入れ替えを行い、利用の円滑化を図った。 また、1・2月にはろ過機交換工事および温度調節機能交換工事のため休業期間が生じたが、その間にも利用環境の整備に向けたメンテナンスを実施するとともに、子どもたちが冬休みの課題に楽しみながら取り組める機会を複数回提供した。 新規事業として、大人向けにビックルボール、子ども向けにドッジボールおよび走り方教室を展開し、魅力的なプログラムを提供した。プログラムの実施にあたっては、日本ドッジボール協会、埼玉県ドッジボール協会、埼玉県公園緑地協会と連携し、教室およびイベントを開催した。 【経費の削減】 昨年度に引き続き、現状の使用状況に合わせて電気需給契約の内容を見直し、経費の削減に努めた。使用量については、指定管理グループ内で常時共有する機会を設けるとともに、四半期ごとに指定管理ミーティングを実施し、施設管理について連携を図った。 【適正な管理運営の確保】 昨今の社会情勢を踏まえ、安心して施設をご利用いただけるよう、安全・コンプライアンス・防災に関する各種研修に積極的に取り組んだ。 【安全】 溺者救助研修・CPR&AEDライセンススタッフ100%取得 体育施設器具備品管理研修(スポーツフロア含)・障害者対応研修 【コンプライアンス】 情報理解度研修(年4回)・IT理解度研修(年4回) 他 ブラザウエストとの合同防災訓練(2回/年) 指定管理者及びさいたま市スポーツ協会合同防災訓練(2回/年)
--

(2)さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局スポーツ部スポーツ振興課)

総合評価 (B) ※A~D 1 項目別評価 【市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進】 ・老朽化しているプールのロッカーを入れ替えるなど、市民サービスの向上に寄与した。 【経費の削減】 ・使用量について指定管理者内ミーティングを行うことや、現状の使用状況に合わせた電気需給契約を行うことで経費の削減に努めた。 【適正な管理運営の確保】 ・安全・コンプライアンス・防災に関する研修に参加し適正な管理運営に努めた。 2 総合評価 ・修繕により使用できない箇所のメンテナンス作業を行うなど臨機応変に、施設管理のための運営を行った。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

- ・利用者の安全確保、利用者の利便性の向上とサービス品質の向上
- ・利用者アンケートを踏まえた利用者の満足度の向上
- ・危機管理体制の再確認
- ・情報セキュリティ体制の再確認